

奈良宗教者平和協議会総会記念公開講演会

# 安倍政権を支える2つの宗教潮流

日本会議系教団と創価学会

講師

# 柿田睦夫

宗教ジャーナリスト

かつて自民党には強力な支持教団があった。生長の家、霊友会、世界救世教団、そして新宗連と立正佼成会……。

だが、安倍政権下で、それは様変わりした。政権とは一線を画し、逆に政権批判の側になる教団まであらわれた。

そんな中で、安倍政権を支える教団は日本会議系教団と創価学会のみとなる。支持態様と選挙の貢献度は大きく異なる。巨大な組織票をもつ創価学会はいまや安倍自民党にとって最強の「支持母体」となった。その創価学会は創立90年を迎えるいま、教団史で初めての転換点＝危機に入っている。教団はこれをどう乗り越えようとしているのか。

ここでは、かつての支持教団の変化と創価学会の現状について考えたい。（柿田記）

日時 2月15日(土) Pm15:30

会場 奈良県文化会館第2会議室

主催 奈良宗平協

携帯 090-1220-7112

Eメール [kiyo@kcn.jp](mailto:kiyo@kcn.jp)

<https://naraheiwa.exblog.jp/>

どなたでも  
ご参加  
いただけます。

#### 講師のプロフィール

高知県出身。元「しんぶん赤旗」社会部記者。現在宗教ジャーナリストとして精力的に活動を続けている。

#### 主な著書[編集]

『統一協会—集団結婚の裏側』（かもがわブックレット）『現代こころ模様—エホバの証人、ヤマギシ会に見る』（新日本新書）『霊・因縁・たたり—これでもあなたは信じるか』（かもがわ出版）『現代葬儀考—お葬式とお墓はだれのため?』（新日本出版）『創価学会の変貌』新日本出版社

ご参加を希望される方は、Eメールか、Cメールでご連絡ください。